【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【公開番号】特開2017-67356(P2017-67356A)
【公開日】平成29年4月6日(2017.4.6)
【年通号数】公開・登録公報2017-014
【出願番号】特願2015-192390(P2015-192390)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　　7/10　　　(2006.01)
Ｆ２４Ｆ　　7/013　　 (2006.01)
Ｆ２４Ｆ　 13/24　　　(2006.01)
Ｇ１０Ｋ　 11/178　　 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　　7/10　　　１０１Ｅ
Ｆ２４Ｆ　　7/013　　 １０１Ｍ
Ｆ２４Ｆ　 13/24　　　２４７
Ｇ１０Ｋ　 11/16　　　　　　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成30年7月4日(2018.7.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
箱体の外郭と、
前記外郭の一面に設けられた空気を吸込む２つの吸込口と、
前記外郭の前記一面とは異なる他面に設けられた空気を排出する排出口と、
前記吸込口に接続して内部を空気が流れる筒状体の２つの能動消音風路と、
前記排出口に接続して空気を排出する送風部と、
前記能動消音風路から前記送風部に向かって空気が流れる送風空間と、
を備え、
前記送風部は、遠心ファンを内包して空気を前記排出口に導くファンケーシングを備えており、
前記能動消音風路は、前記ファンケーシングの一部を挟んで２つの筒状体を並列に配置したことを特徴とする換気装置。
【請求項２】
前記能動消音風路は、前記遠心ファンの回転軸の半径方向から互いに挟んで２つの筒状体を並列に配置したことを特徴とする請求項１に記載の換気装置。
【請求項３】
前記遠心ファンは、回転軸の軸方向の両面に２つのファン吸入口を有し、
前記能動消音風路は、前記回転軸の軸方向から互いに挟んで２つの筒状体を並列に配置したことを特徴とする請求項１に記載の換気装置。
【請求項４】
前記能動消音風路は、筒状体の内部の音を検出する検出マイクと、筒状体の内部に音を放出する消音スピーカとを備えることを特徴とする請求項１から３のいずれか一項に記載の換気装置。